

ゆりだより



<8月誕生会>

ジェスチャーゲームをして遊びました。誕生児が何をしているのか、動きだけを見て考えます。ハンドルを握って運転している子やボールを蹴ってサッカーをしている子など、全身で表現することを楽しんでいました。そして、先生の出し物は「マジック」。子どもたちは目を大きくして、見入っていました。不思議な現象に面白さや驚きを感じているようでした。

<プール遊び>

初めは、補助があっても恐怖心から腕や足を真っ直ぐ伸ばせなかったり、すぐ床に手をついたりしてしまう子がありました。励まし合ったり頑張っている姿を認め合ったりすることが力になり、それぞれが目標をもって取り組んでいました。蹴伸びや伏し浮きができるようになったことで、イルカジャンプに挑戦する子も多くなりました。

<組体操>

ずっと憧れていた組体操の練習が始まると、やる気に満ち溢れている子が多くいました。しかし、実際に取り組んでみると思い通りにならなかったり失敗したりして諦めそうになることがありました。さらに、石があたって痛いけど動いたら友達が落ちちゃう…洋服に付いた砂を払いたい…など、戸外で行う組体操は多くの障害がありました。話し合いや細かな練習を重ねると、一人一人が力を発揮し集中して行うようになりました。仲間を信じ思いが一つになった最高の組体操に胸が熱くなりました。



< 僥倖 >

道具は全て、子どもたちと一緒に作りました。活動の前にオリンピックについて話題にしてみると、「バレーボールやってたよね。」「この火、見たことある!」など、関心をもってのようでした。そして、道具作りが始まると、どのように製作していくのかそれぞれグループの友達と話し合い、試したり工夫したりして協力して進めていました。時間をかけて完成した時には、友達と喜びを共感し達成感を味わっているようでした。

いざ、競技の練習が始まると、とても楽しそうに取り組んでいて「まだやりたい!」「もう一回!」など、自分たちで作った道具を使うことでより楽しさを感じているようでした。しかし、ボールを運ぶ時、落とさないために歩いて運ぶ子が多くいました。落とさないように友達と息を合わせて駆け足で運ぶのとどちらが良いか考え、実際に行ってみると子どもたちも友達と競い合うことの楽しさに気付いていました。僥倖を通して子どもたちはみんなで協力する楽しさを感じているようでした。

<9月誕生会>

『八百屋のお店』の歌に合わせて、仲間集めゲームをしました。誕生児が言った野菜の文字数で集まったり「ん」がつく時は、みんなで一つの円を作ったりします。野菜の名前をよく聞き、指で数えながら文字数を数えたり、「トマトは、3文字だから3人だ!」と声に出したりしながら友達が集まると喜びを共感して楽しんでいました。